

塁球報告

量子二連勝

3試合連続2桁得点

(化反5-20量子、1回戦、6日、御殿下グラウンド、写真撮影…大高(敬称略)ソフトボール大会練習試合が開催され、量子化学研究室(量子)が化学反応学研究室(化反)に20対5で勝利した。量子は3試合連続の

2桁得点で三連勝。この試合、量子は化反に先制を許し、追いかける苦しい展開となった。ところが、3点を追う4回裏の攻撃、量子は田原の二点適時遊撃内野安打などで一挙11得点を挙げた。5回裏の攻

撃でも市川、安藤の適時打などで8得点(参考)。リードを大きく広げ、勝利した。○田原(量) 二点適時内野安打について「打ち損じてしまいました。(第二打席で放ったような)左前安打が理想的です」。

[発行日]
2012年6月8日(金)

[発行者]
ソフトボール代表
石田角太

[連絡先]
2-4336



4安打3打点と活躍の市川

Rookies③

仁田 諒さん



高校では将棋部に所属していました。相手してくれる方を探しています

Rookiesの第三回目は、仁田諒さん(学部四年)です。◇
三年生の時はソフトボールをやっていませんでした。量子化学研究室では、人数が足りなさそうだったのでとりあえず参加しました。勝てるチームなので楽しいです。

最近ではボールの軌道がわかるようになり、守備が上達しました。打撃では、市川さんに教えて頂いたフォームに取り組みることによって強い打球が打てるようになりました。今後も勝つので、皆さん応援をよろしくお願いします。



2回3失点に抑えた安藤

量子投手陣 仕上がり順調

この試合、量子の失点は5。各投手が安定した投球

を見せた。先発は仁田。前回登板時

○深堀(量) チーム最多の3四球を選ぶ。「ストライクの見極めが出来ていないのですが、結果として良かったです。見極めの練習をします」

○安藤(量) 4安打2打点の活躍に「歸家さんがいなくて不安な中、打って良かったです」。

は1回を投げ被安打7、8失点を喫していた。しかし、今回は2回を投げ打者10人に対し被安打2、失点もわずか1と大幅に成長。2番手安藤も2回3失点と無難に抑えた。最終回は市川が登板。課題であった制球も安定し、与四球0、失点は1だった。

仁田 「今回は市川さんに教えて頂いた投球フォームで投げた。前回よりコントロールが良くなり、打たせて取ることが出来た」

安藤 「あまり投球練習が出来ていないので、緩い球を投げた。そのため打たれてしまった。リリースポイントを安定させることが課題」

市川 「前回よりコントロールが良くなった。フォームのコツがつかめてきた」

量子化学研究室
ソフトボールチーム

